

てハヂガク *Hadjigāk* 峠(標高三六五〇米突)の處でコヒババ山脈を越へ、ガルダ
ンディワール *Gardān-Diwār* の村落でヘルマンド川を渡り、其處でハザラヂャ
ート *Hazaradjāt* 地方の山又山を越えてヘラト *Herāt* から來る隊商街道に合し
て居る。さうして相合した道は、標高三三五〇米突といふ際限もないウナイ
Unai 峠を越えてカーブール川の水源に出で、景色のよい此の谷川に沿うて
現在のアフガニスタン國都に着いて居る。此の道を通るとバミヤーン、カー
ブール間の距離は僅に四十五クルウル(約一三五吉米突)に過ぎないが、ゴルバ
ンド *Ghorband* 谿谷を迂回すると七十五クルウルに達するものである。今から
考へてみると如何にも不思議に思はれるかも知れないが、玄奘法師は決して
カーブールに行かうと考へたものではない。勿論、當時既に此の町は存在し
てゐたものであるが、今の處よりは七八吉米突東南にあつたものらしい。又
シェヴァキー *Shévākī*, カマリー *Kamari* 兩村落の上方に其の遺跡を發見されて
ゐる十二三の寺が此の町のお蔭で立ち行くものであつたことなども事實であ
るらしい。それにしても當時のカーブールはカピシヤで第二流の都會に過ぎ